流山民報　2022年　4・5月号　NO.209　流山市議会第１回定例会のご報告　日本共産党流山市議団

指定ごみ袋「強制導入」重ねて抗議

日本共産党



4月1日以降、市内各地のごみ集積所には多くのごみ袋がとり残されています。

1「導入根拠に誤解があった」とお詫び

市が繰り返す導入根拠…「燃やすごみの中に重量比で３割近いプラスチックが混在」は事業系を含めごみ総量をまとめたもの。「家庭ごみ」だけの話ではありません。しかも市の最新資料（直近５年間の比較）によれば、「家庭ごみ」は10％の増加にとどまる一方、「事業系ごみ」は28％も増加。しかし市長は「（事業系ごみ）削減に向けた具体的指示はしていない」と答弁しました。

2 指定ごみ袋の売上数・定着率は「把握していない」

３月になっても、売上数も定着率も「把握していない」と市は答弁。市民や自治会等で不安が広がるのも当然です。分別はされているものの、指定ごみ袋を使用していないため取り残された家庭ごみの回収について、日本共産党の追及に、「公衆衛生等から個々に判断する」「クリーンセンターに連絡を」との答弁にとどまりました。

3 値上げの可能性…「否定できない」



今でも高い指定ごみ袋は、ほとんどが輸入品。原油等高騰を理由にさらなる値上げの可能性も生まれています。

おむつ使用世帯への指定ごみ袋一部無料支給…

指定ごみ袋の使用強制をするため、おむつ使用世帯への無料配布（年間経費1155万円）をスタート。0～3才児約9400人と要介護者（障害者含む）約2200人へ、一人・月2枚（30ﾘｯﾄﾙ）を配布します。例えば、0才の赤ちゃんがいる世帯には、3年分90枚を一度に郵送する一方、要介護者には申請・クリーンセンターによる確認後、やっと支給されます。

「指定袋」と「透明・半透明の袋」の併用にするだけで、経費・送料・申請・確認は不要となり、各家庭での指定ごみ袋購入や自治会内の混乱は解消されます。

南流山中学校 移転・開設

保護者らの運動で教育環境を守り、改善へ



利用できる敷地が広がります。
グラウンド（手前）と、第二体育館（奥）です

人口増加を背景に、旧東洋学園大学跡地の一部へ南流山中学校移転計画が浮上。さらに、私立中学校も隣接させる計画案を市長が表明してから1年半になります。

日本共産党市議団は、議会内外で課題を提起し、保護者らと一緒に声をあげてきました。私立中学の撤退もあり、旧大学跡地全体を南流山中学校で利用できる可能性が大きく広がっています。引き続き、次世代を担う子どもたちへ、より良い教育環境を保障しましょう。

願いが実現します

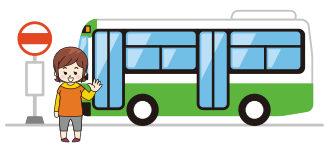
今年度、市民との協働により、願いが実現します。「やっと実現した!!子どもが多い世帯にとって本当にうれしい」、「障害があっても、自立に向けて生活訓練を受けています。片道629円の交通費負担が軽減されることは励みになります」…市民からは喜びの声が寄せられています。

子育て

- 妊娠・出産・育児サポート係の新設
- 多子世帯への保育料軽減措置の対象年齢拡大
- 医療的ケア児（人工呼吸器等を使用し、たんの吸引等の医療的ケアが日常的に必要な子どもたち）への保育に伴う看護師人件費の補助を予算化

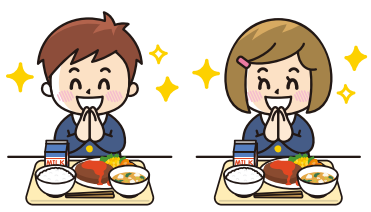
福祉

- 生活訓練サービスを利用する障害者にも通勤補助拡充
- 自殺対策を予算化



教育

- いじめ等防止対策推進事業を大幅に増額
- 学校給食費のすえ置き



まちづくり

- 道路維持補修費を大幅増額（100％市内事業者発注）



流山市加4-1688　TEL／FAX 04（7157）6140　メールアドレス　giindan@nagareyama-jcp.jp
ホームページ　http://www.nagareyama-jcp.jp/　流山市議会事務局　平和台1−1−1　TEL 04（7150）6099

ご意見・ご要望をお寄せください

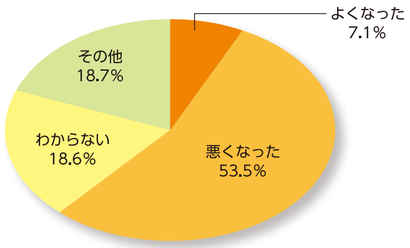
2021（令和３）年度
暮らしのアンケート結果報告

昨年11月から党市議団独自に実施した『暮らしのアンケート』には、1500通を超える返信がありました。ご協力に心より、感謝申し上げるとともに、結果をご報告いたします。

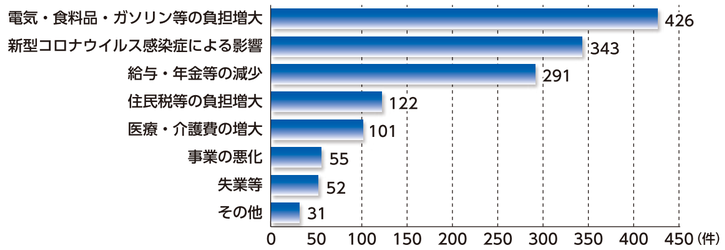
党市議団や後援会では、お寄せ頂いたご意見・ご要望を関係機関へ届け、実現に向け力を尽くします。また、さらに詳しい結果については、QRコードからご覧いただくか、「日本共産党流山市議団　暮らしのアンケート」と検索してください。

1、暮らしむきについて

（１）あなたの暮らしはこの1年でどうなりましたか？

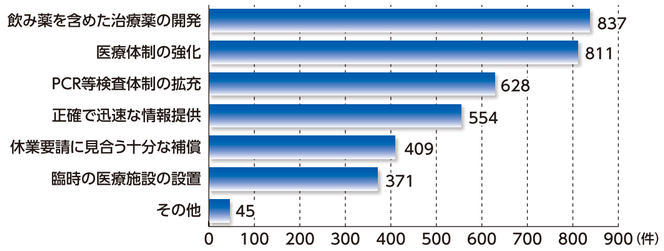


（２）悪くなった理由は主に何でしょうか？

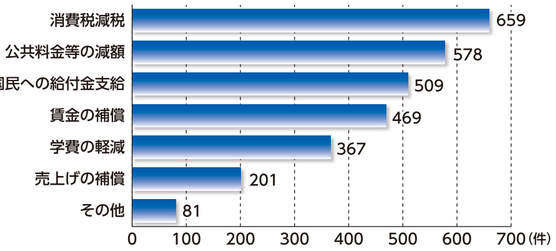


2、新型コロナウイルス感染症への対応について

（１）重視すべきものは何ですか？（複数回答可）

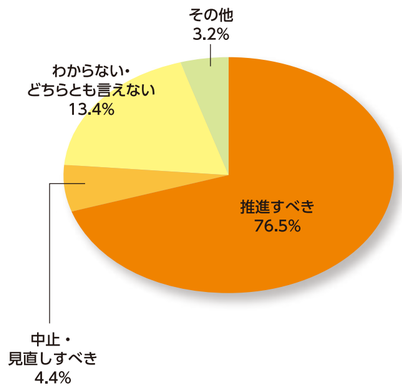


（２）暮らしと営業を守るために必要なものは何ですか？(複数回答可)



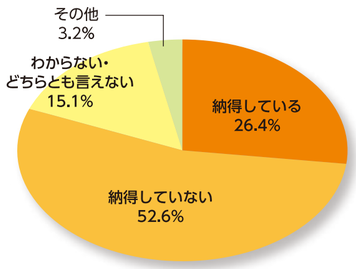
3、環境政策について

（１）地球環境の保全に向け、CO2大幅削減についてどう思われますか？

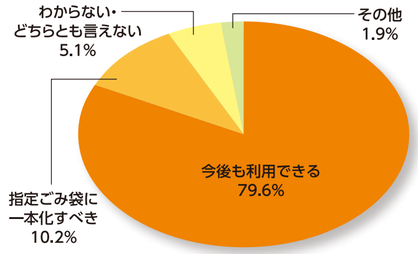


（２）市指定ごみ袋についてご意見をお聞かせください。

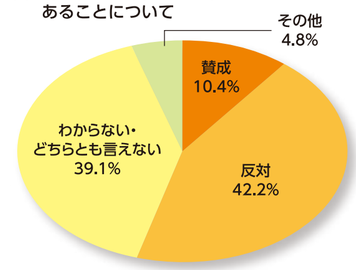
(a) 導入されることについて



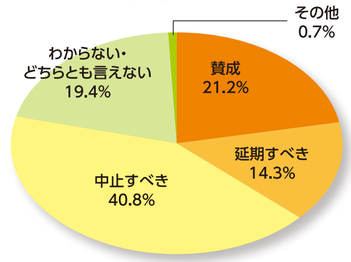
(b) 現在の「透明または半透明」の袋なら、どの袋でもごみ出しができることについて



(c) 導入される市指定ごみ袋がプラスチック製であることについて

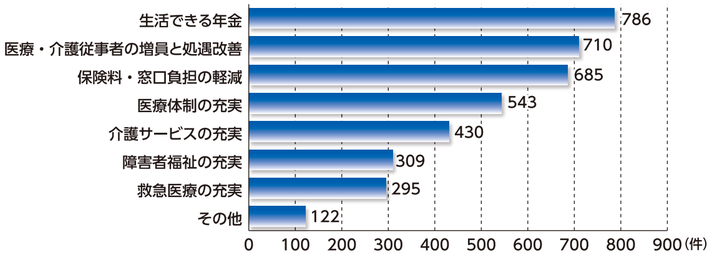


(d) 4月からの本格実施について

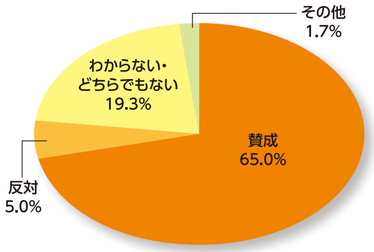


4、医療・介護・福祉について

（１）あなたが重視すべきものは何ですか？（複数回答可）

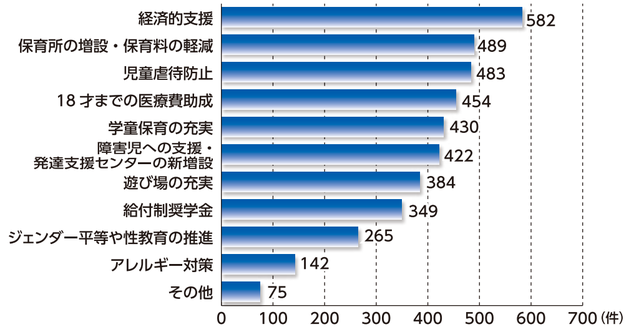


（２）障害者手帳を持っていない高齢者の難聴対策として、補聴器を購入する際の補助・助成について

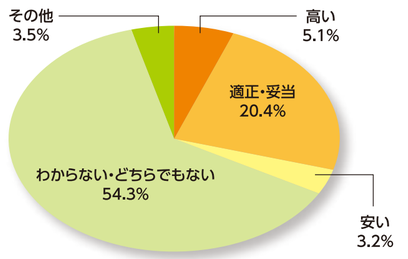


5、子育て・教育について

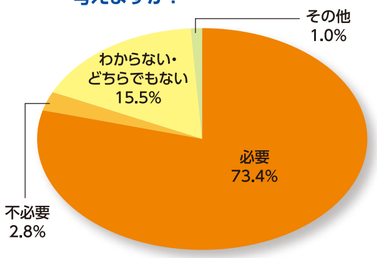
（１）子育て・教育で重視すべきものは何ですか？（複数回答可）



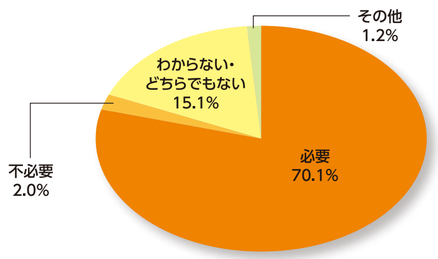
（２）小中学校の給食費について



（３）市内に保健所は必要と考えますか？

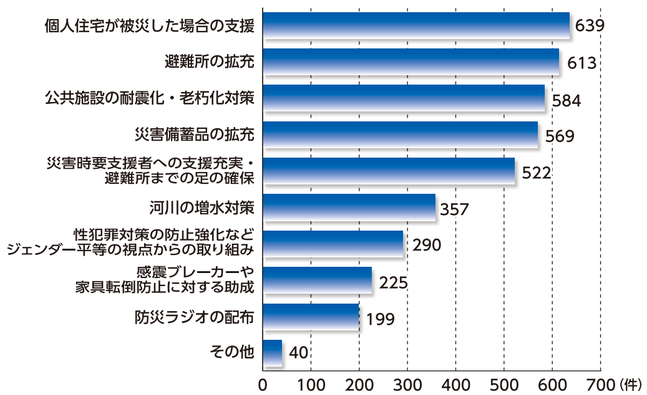


（３）市内に児童相談所は必要と考えますか？

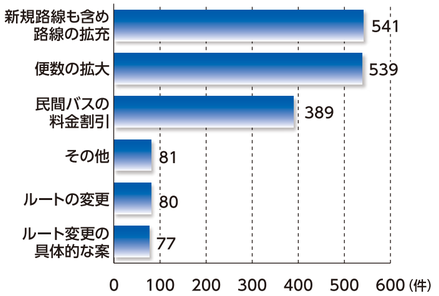


6、まちづくりについて

（１）防災対策で重視すべきものは何ですか？（複数回答可）



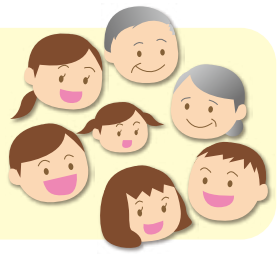
（２）バス交通について重視すべきものは何ですか？（複数回答可）



2022予算 感染症対策の後退、公共施設の廃止皮切り…

日本共産党 反対

市政施行55年目を迎えた2022年度。流山市の予算は一般会計予算で730億1千万円（全体で1178億5千万円余）となりました。日本共産党市議団は、前年度比30億円余も増加した過去最大規模の市税収入や、水道企業会計からの5億円納付等、好条件が福祉などに活かされていないと反対しました。さらに、「流山に住んで良かった！」「流山で働けて良かった！」と思える市政を目指し、予算の組み替え動議や条例改正案を提案しました。



予算の概要・党の見解

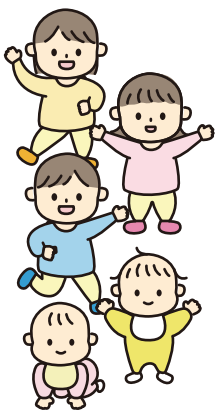
今年度予算案は、不要不急事業へのバラマキ等がある一方、市内への保健所誘致には動かず、定期・頻回検査も未実施。救急隊への検査も廃止、市保育士への防疫手当縮減など感染対策が後退。また、ケースワーカー一人の虐待相談が１４０件を超えるなど市職員の不足が常態化し、さらに東部市民プール廃止を皮切りに、公共施設の廃止・統廃合をスタートさせました。

市議会初 予算組み替え動議を提案

■ **予算減額（予算執行の停止）** …… **約６億2000万円**
- 不要不急の「白みりんミュージアム」関連事業 …… **5000万円**
- 運動公園地区一体型土地区画整理事業 …… **５億1000万円**
- 東部市民プール解体工事等諸経費 …… **6000万円**

■ **歳出増額（新規事業の執行）** …… **約５億9000万円**
- 私立保育士等、市公共サービスを担う全従業員等への危険手当支給 …… **５億円**
- 感染陽性者を搬送した救急隊員へのPCR検査 …… **1400万円**
- 市立保育士の消毒作業に対する防疫手当支給 …… **300万円**
- 小中学校就学援助の対象項目拡大（卒業アルバム代追加）…… **242万円**
- 学校給食の負担軽減（3人目の子どもについては学校給食無償化）…… **2800万円**
- 東部市民プールのろ過機等更新事業 …… **4000万円**

多子世帯への負担軽減 条例提案



国民健康保険は、年齢や経済力を問わず、世帯の人数分に乗じて、保険料（均等割）を課す制度です。全国的な改善運動をうけ、政府や市も、就学前までは保険料を半額にする制度を４月からスタートさせます。

日本共産党市議団は、さらに一歩前進をと、3人目以降の子どもが18才になるまでは保険料（均等割）を免除する条例改正を提案。流山市年間予算の0.006%のやりくりで実現できることが分かりました。

校則「ツーブロックにしたい…」



「ブラック校則」全廃…都立高校の取り組みをキッカケに、市内中学生から「僕もツーブロックにしたい」とのメールが…。

「人格形成の場」である市内小中学校にはルールは必要ですが、一方的に校則を押し付ける時代ではありません。日本共産党市議団は、各発達段階を踏まえ、各学校が内発的・主体的に校則をよりよく改善できるよう寄り添っていきます。

市議会 ねほりはほり

ロシアの武力侵攻に抗議します

日本共産党市議団は、「ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議案」を２月28日、議会運営委員会に提案。しかし、議長が所属する流政会等から「提出期限が過ぎている」との理由から、決議案が提案できないことに…。しかし、戦況の悪化、全国各地方議会での決議採択を受け、３月22日市議会最終日冒頭、議長は「ロシアの軍事侵攻に強く抗議する」と発言しました。

法的根拠を持った決議採択など流山市議会の改善が必要です。

身近な要求実現



県土木事務所が県道歩道の改修を約束（加４丁目）
いぬい紳一郎



自転車通学 生徒の希望かなう（おおぐろの森中学校）
小田桐たかし



念願のエレベーター設置（北部公民館）
植田和子



木谷工業前市道の道路補修（名都借）
高橋あきら